ベラマラ・コンバインドサイクル火力発電所建設計画【バングラデシュ】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和5年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	バングラデシュ人民共和国
(2) 案件名	ベラマラ・コンバインドサイクル火力発電所建設計画
(3) 目的・事業内容 *閣議決定日, 供与条件などを 含む	<p>電力需給の逼迫するバングラデシュ西部地域において、高効率のコンバインドサイクル火力発電所を建設することにより、電力需要増への対応及び安定的な電力供給を図り、もって対象地域の産業競争力の強化、民生の向上及びバングラデシュの気候変動の緩和に寄与するものである。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンバインドサイクル火力発電所及びその附属設備の建設 ・ガス輸送ネットワークに係る監視制御システム（SCADA）の整備 ・コンサルティング・サービス <p>ア 閣議決定日：平成25年2月19日 イ 供与限度額：414.80億円 ウ 金利：0.01% エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、バングラデシュでは増大する電力需要が供給を大幅に上回っていることから、ピーク時を中心に計画停電が実施されていたが、資金不足等による新規発電所建設計画の遅延等により、その後も需給ギャップが解消されない見込みであった。この為、新規電源開発、エネルギー源の多様化、送・配電部門におけるシステムロスの改善等を通じて、電力の安定的な供給体制を確立することが喫緊の課題となっていた。これら開発課題は現在も認められ、同国の人口増加や経済成長を背景に電力需要は更に増加傾向にあり、引き続き発電所整備等、電力の安定的な供給体制の確立が必要である。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>現在、本事業は順調に進められている。円借款事業（火力発電所及び附属設備の建設やSCADAシステムの整備）自体は、2018年に完成しており、現在は借款対象に含まれている完工後のメンテナンス外部委託契約（2019年から2025年までの6年間にわたる長期サービス契約を締結）の下、発電所の遠隔監視や、発電所の基幹部分であるガスタービン、蒸気タービン、発電機等の定期検査を実施中。</p> <p>なお、本事業計画時に見込んでいた、最大出力360MW、稼働率90%の目標指標を上回り、2022年7月時点で最大出力455MW、設備稼働率97%の開発効果が確認された。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズがあり、事業完成後は当初予定を上回る効果が確認されていることから、支援を継続する。貸付契約発効10年後の2023年5月に貸付は完了する予定。なお、メンテ</p>

	ナンス外部委託費用は貸付完了までは本事業、それ以降は先方政府が負担する予定。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none">・ 交換公文・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要・ 政策評価法に基づく事前評価書・ 国際協力機構の案件検索・ 国際協力機構の事業事前評価表・ その他国際協力機構から提出された資料